

## 『omni7』本格稼働に向けた、そごう・西武の流通改革 百貨店業界初！SPA型婦人靴への挑戦

そごう・西武では、これまで婦人服の自主開発において、「アベックモード」「ハニカムモード」など、デザインから生産管理まで自社で行うSPA(製造小売業)に取り組んでまいりました。そのノウハウを活用して、今回、婦人靴においても、問屋を通さず、直接工場と取り組む手法を実現しました。当社バイヤーが工場に直接入り込み、モノ作りの立場から一緒に仕事をするにより、適時・適品・適価での商品提供が可能となります。工場は、職人の繁閑が無くなり、そごう・西武は原価低減にも繋がり、Win-Winのビジネス構図を築きます。

また、『omni7(オムニ 7)』の本格稼働により、ネットで見つけた商品を、店舗で購買する“WEBルーミング”のような消費スタイルに対応するためにも、色・サイズ等、機会損失の無い売場づくりも重要になってまいります。

お客さまの立場に立った、上質なモノ作りを通して、**新しい開発の取り組みを軌道に乗せてまいります。**

### SPA型への挑戦① 工場の閑散期を活用した、生産サイクルの効率化

2009年から国内工場に入り込み、まずモノ作りのサイクルを理解しました。問屋仕入れの多くは、海外大量生産・一括納品であるため、売り逃しや商品ロスもやむを得ないケースがありました。短サイクル・小ロット生産に長けた工場には、適時・適品・適価で商品供給が可能な「手作り」ならではの利点があります。その工場にも、近年、生産足数の減少や、職人の繁閑があることが判明。そこでピークオフ期に安定した生産体制を取るにより、閑散期のコストを解消し、**適切な価格でのモノ作り**を可能としました。



### SPA型への挑戦② そごう・西武一括手配による、上質な革(素材)の供給

工場の閑散期を活用するモノ作りの効率化と同時に、もう一段、作り方にも入り込みました。工場が靴作りに徹し、専念できるように、色や革質など、そごう・西武が見極めた上質な革(素材)を一括手配し、供給するまでに至りました。コンスタントに職人の手を動かすことで工場運営の安定化・品質の向上を図り、**上質なモノ作り**を可能としています。なお、革の一括手配により、紳士靴の生産も検討しています。



### SPA型への挑戦③ 2016年2月、履き心地にこだわった独自商品を新規投入

海外・機械生産が追求する大量・低価格ではなく、国内工場職人の手による**丁寧なモノ作り**を追求してまいります。ナショナルブランドと同価格であれば、クオリティがはるかに上回るのが「リミテッド エディション」です。2016年春夏では、「リミテッド エディション」婦人靴PBで51,000足の生産を予定しており、そのうち、7~8社からなる国内協力工場によるSPA型の生産は、約40型・20,000足を計画しています。お客さまの立場に立った、新たな開発の取り組みが始まります。



※本リリースの掲載画像はイメージです。